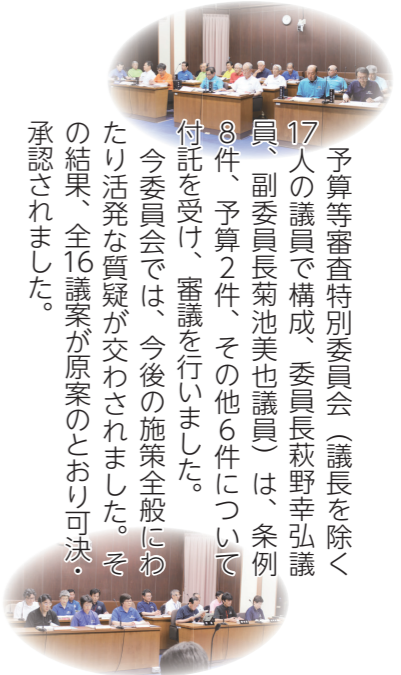


予算等審査特別委員会



予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長萩野幸弘議員、副委員長菊池美也議員）は、条例8件、予算2件、その他6件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全16議案が原案のとおり可決・承認されました。

保育士の処遇改善について

問 保育士の有資格者確保の面でも採用が難しくなっていくのではないかと。保育士不足のなか、保育人材の安定的な確保が求められてくる。保育士は、子どもに接している時間以外にも事務処理など長時間勤務の傾向にある。保育環境づくりについて保育事業者と意見交換しながら、事務の見直しなど就労環境の改善に繋げていきたい。給与

答 保育士不足のなか、保育人材の安定的な確保が求められてくる。保育士は、子どもに接している時間以外にも事務処理など長時間勤務の傾向にある。保育環境づくりについて保育事業者と意見交換しながら、事務の見直しなど就労環境の改善に繋げていきたい。給与

問 保育士の有資格者確保の面でも採用が難しくなっていくのではないかと。保育士不足のなか、保育人材の安定的な確保が求められてくる。保育士は、子どもに接している時間以外にも事務処理など長時間勤務の傾向にある。保育環境づくりについて保育事業者と意見交換しながら、事務の見直しなど就労環境の改善に繋げていきたい。給与

については国の処遇改善措置を踏まえ、安定的に継続雇用が確保されるよう、仕組みづくりも考えていきたい。

問 処遇改善について、身分保障や賃金労働条件の改善も含めて市でも積極的に関わっていくことが大事と思うが。

答 国の制度では、保育園等の施設に保育費用として支払われる施設型給付費は、職員配置の基準と子供年齢に応じた人数の単価で算定されるが、保育現場では毎日長時間勤務に

ならないよう交替で勤務したり非常勤保育士等で対応したり、基準の人数より多くの保育士が必要となる。そのため、実際に必要な人件費相当分と比べて給付費が十分反映されていないことから、勤務実態を想定した給付費の算定の在り方など給与改善に直接結びつくよう、制度の見直しについて国に求めていく。また、保育士などの職員の雇用条件や労働環境について保育事業者との協議のなかで改善策を検討したい。

問 歳入で寄附金の予算が増額となったのはなぜか。

答 県内14市中11市がふるさと納税制度を利用している。遠野市は他市より先に「で・くらす遠野市民制度」を立ち上げ、交流人口の拡大と定住促進に努めてきた。今回、返礼品が人気でふるさと納税に係る事業が拡大して

いることから、遠野市もこの制度を利用することとし、個人6千万円、企業1千万円の寄附金を計上した。

問 返礼品選定・発送等業務の委託先は、大手の専門業者に、パンフレットの作成や発送等を委託する。

答 返礼品の提供業者として、セット商品やアイデア商品の開発を依頼したい。

問 コンビニ収納の納付実績について

答 5月末時点で5792件の納税利用があり全体の19・75%。その内軽自動車税24%、固定資産税17%の利用があり、予想より利用率が高かった。若年層の利用が多く、督促件数は減少傾向にある。

ICT健康づくり事業について



問 外国人旅行者が市内でおみやげを購入できる状況か。

答 実際にはそれほど頻繁にあるわけではないが、簡単な英会話ができる観光協会の職員が、商品を紹介しながら外国人旅行者に販売をしていることを確認している。

問 どのような商品を対象として考えているか。検討している具体的なおみやげはあるのか。

答 あくまで今回は、風の丘の商品を多言語で紹介し、外国人旅行者の購入に結びつけよ

問 歩数計を身に付けた歩行運動の実施、スポーツイベントへの参加、トレーニングルームの利用など、健康づくりに努力した方に最大6千ポイント（6千円相当）を付与する。ポイントとはスキップカードに変換し利用できる。定員は800名で、ICT健康塾の方については移行して対応する。

問 乗馬やスラックラインなど、豊富なメニューで、利用者が楽しみながら取り組めるようにするべきでは。

答 プログラム内容の充実が、今後、検討の価値がある。

問 スラックラインは楽しみながら体幹も鍛えられる



答 現在3戸の畜産農家が拡大の意向と聞いているが、これからは個人だけの取り組みには限界があり、若手の育成を地域が一体となって取り組むことが大なるのか。

畜産クラスター推進事業について

問 事業の内容は。TPP関連対策として国が打ち出した事業で、畜産農家と地域の畜産に関わる関係者や支援組織、流通加工業者、農業団体、組合、行政が一体となり、畜産の所得向上を図ることと位置づけられている。また、この事業を推進するためには、関係者が一体となった協議会組織が必要となる。

問 県内の取り組み状況は。26年度からの事業で、初年度は4件、27年度5件、28年度は当市の1件を含めて現在のところ3件と聞いている。

問 担い手不足対策となるのか。

答 現在3戸の畜産農家が拡大の意向と聞いているが、これからは個人だけの取り組みには限界があり、若手の育成を地域が一体となって取り組むことが大なるのか。

伝統かやぶき屋根再生事業費について

問 事業の内訳は。平成19年度に「かやぶき屋根再生事業方針」を定め平成27年度まで順次、葺き替え作業を実施してきた。平成28年度から5か年の新たな方針を策定し、今年度は遠野ふるさと村弥十郎どん屋根葺き替え工事請負費として6千万円の事業費を計上した。

問 今年度から新たに5か年計画のようであるが、5年間どのくらいの屋根の葺き替えをやるのか。

答 平成29年度から32年度までで6か所の計画で、1億8300万円の予算である。

問 原料となる「かや」は

売上向上を目指すことを検討していく。



伝承園にある菊池家住宅のかやぶき屋根

農業施設と生活施設との関係改善の体制づくり

問 遠野市では土地改良による基盤整備を進めてきているが、年数経過とともに生活環境施設との兼ね合いで不具合が生じている。市としてどのような調整を図ってきたのか。

答 基盤整備による施設の老朽化などの問題も伺っている。市では農業振興課と建設課との調査により、必要に応じては国・県に要望して改修整備を行う

外国人おみやげ販売促進事業費について

問 事業の内容は。増加している訪日外国人旅行者を農山漁村に呼び込み、農林水産物の購入増大を図るために必要な地方の農産物直売所等の施設改修などに対する補助を目的とした、農林水産省の「農産漁村おみや

問 外国人旅行者が市内でおみやげを購入できる状況か。

答 実際にはそれほど頻繁にあるわけではないが、簡単な英会話ができる観光協会の職員が、商品を紹介しながら外国人旅行者に販売をしていることを確認している。

問 どのような商品を対象として考えているか。検討している具体的なおみやげはあるのか。

答 あくまで今回は、風の丘の商品を多言語で紹介し、外国人旅行者の購入に結びつけよ

外国人旅行者に対するおみやげ販売について

問 外国人旅行者が市内でおみやげを購入できる状況か。

答 実際にはそれほど頻繁にあるわけではないが、簡単な英会話ができる観光協会の職員が、商品を紹介しながら外国人旅行者に販売をしていることを確認している。

問 どのような商品を対象として考えているか。検討している具体的なおみやげはあるのか。

問 原料となる「かや」は